

## 永田まりなの日々の活動

議会活動以外では以下の3つの活動に力を入れています！

- 市政報告新聞「鎌倉人」発行（議会月を除く） ● 各駅での駅頭（議会月を除く）
- 第3土曜日に市政報告会「まりな会」開催（議会月を除く）



鎌倉市議会では、本会議および各常任委員会等について生中継を行っています。録画映像も見ることができます。

また9月定例会より、スマートフォンやタブレット端末からでも中継が見られるようになる予定です。

詳しくは鎌倉市議会ホームページをご覧ください。

鎌倉市議会 中継

検索

## 永田まりなプロフィール

1983年2月19日生まれ・34歳・A・B・七里ガ浜在住  
聖路加幼稚園～七里ヶ浜小学校～北鎌倉女子学園中学校～鎌倉高等学校  
～フェリス女学院大学卒業

2004年度ミス鎌倉、鎌倉ケーブルテレビリポーターを経て  
大学卒業後はフリーアナウンサーとして活動

2013年市政へ挑戦、4月鎌倉市議選初当選。メディアでの経験を生かし  
YouTubeで市政報告情報発信チャンネル「鎌夢会チャンネル」開局  
女性の様々な生き方の選択肢を増やしていきたいとの思いから  
様々な角度から議会にて質問、政策提案！

2014年より、若い世代にも政治を身近に感じてもらうべく、夏（8～9月）と春（2～3月）  
に、大学生インターンの受け入れを実施。これまでに計8人が活躍。現在も継続中！  
2017年2期目に再選。総務常任委員会担当。

ご意見・コンタクトはこちら SNSでも情報発信中！



鎌倉市議会議員 永田まりな 公式サイト  
www.nagata-marina.com



nagatamarina.kamakura



@nagamari0219

〒248-0025 神奈川県鎌倉市七里ガ浜東5-1-12

TEL・FAX：0467-31-1746

✉ nagatamarina2013@gmail.com

討議資料

鎌倉市議会議員・無所属(34歳)

# 永田まりな

MARINA NAGATA



VOL.36

# 鎌倉人

全力投球！鎌倉！！

大好きな鎌倉が、もっと輝くために。

KAMAKURAJIN

## 鎌倉市の待機児童の現状

現代の日本の問題の一つとも言われている待機児童。鎌倉市も待機児童についての問題を抱えています。現在、鎌倉市の保育園では定員数の約40人以上多く受け入れをしているにもかかわらず、平成29年度では47人の児童が保育園に入れていません。公立の保育園は10年前と比較すると8→6園と下がっている一方で、私立の保育園では8→20園と増えていて、総数は16→26園に増加しています。

公立の保育園が減っていることに対して疑問を持つかもしれませんが、私立の保育園を作るにも市が補助金や運営費を出しています。どのくらいのお金を出しているかという、市は全体の4分の1を負担し、市民の公金（税金）や予算600億円を割り当てています。その為、私立の保育園を建てるにも運営をするにも市のお金がないと出来ません。しかし保育園が増えているにもかかわらず、待機児童が減らないのは、園数を増やすことよりも児童に向けてより良い環境で健やかに成長できる政策が必要だと考えられます。

鎌倉市では「鎌倉市次世代育成きらきらプラン」「鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン～かまくらっ子をみんなで育てよう～」などを掲げ推進し、これらは「保育園を利用したいと思っている人に利用させる」「保育園の利用料に対する補助」を行っています。今はこれらの政策の成果が表向きには現れていなくても、政策から見える反省点・課題が分かり児童が同等な教育を受けられる環境に繋ぐ第一歩になると私は思います。将来の待機児童減少に向け、少子高齢化の現代ではお年寄りとのかわりも必要だと感じています。

## 女性も働きやすいまち 鎌倉に

内閣府厚生労働省によると、2015年の年齢別に見た女性の労働力率は25～29歳の80.3%、45～49歳の77.5%がピークで、30～34歳は71.2%となっており、これらのデータから、今の日本では女性が子育てと仕事を両立させることは困難だということが分かります。せっかくキャリアを持っているのに、子育てと仕事を両立できないからという理由で出産を機に退職してしまうのはとてももったいないことです。

そこで鎌倉市では専業主婦を対象に、再就職を支援する「女性のセカンドキャリアステップセミナー」を行っています。このセミナーはなぜもう一度働きたいのか、どんな仕事に就きたいのかを考え直す機会を与えてくれます。参加者も増加しており、専業主婦の再就職に大きな成果が期待できます。しかし私はそれだけでは根本的な解決にはならないのではないかと考えます。今後は、専業主婦の再就職を支援することに加え、女性が出産を機に退職する必要がなくなる環境や制度を作っていくことも大切です。例えば、企業内に託児所を設置した企業に対し補助金を出す・減税するなど、鎌倉市は積極的に女性の子育てと仕事の両立を支援していくべきだと考えます。



designed by Freepik

## 鎌倉市のお財布事情

ここ10年間の鎌倉市の一般会計予算は600億前後となっており、その目的別内訳の中の民生費（障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護、国民年金などの事業に関する経費）が占める割合は増加傾向にあります。平成20年度と29年度の民生費が占める割合を比べると平成29年度のほうが13%（20年度は26%、29年度が39%）も増加しています。

このまま民生費が占める割合が増加し続けるといずればほかのところで予算が足りなくなるかもしれません。しかし民生費が使われる対象が老若男女を問わない以上、民生費の増加は必要なことだとも思われます。

無駄を省き、歳出を減らしていくことはもちろん大切ですが、歳入自体を増やしていくことがこれからの自治体には求められているのではないのでしょうか。歳入を増やす一例として市内の企業の数を増やし、法人税の収入を増やすことが挙げられます。鎌倉市の歳入における法人税が占める割合は高いものではないので、ひとつでも企業が増えることによる歳入増は効果的だと考えます。

もう一例として、観光地として有名な鎌倉市の特徴を活かし、観光による収入を増やすことを考えてみたらいかがでしょうか。観光客が多いことを活かし、市内にある建物をホテルや旅館に改築し利益を上げること、また泊まる観光が様々なハードルがあり難しいのであれば、地元店舗、商店街の活性化により街の活力をあげながら観光による収入を増やすことが市民にとっても得策なのではないでしょうか。

もちろん、観光による混雑、渋滞などの諸問題については継続して考えていかななくてはならないと捉えています。

## インターン生との活動

若い世代に政治を身近に感じてもらいたい、と続けている大学生インターンの受け入れも3年目になります。今年の夏は3名の学生が活動に参加しています。朝の駅頭からポスティング、各イベントへの参加、そして今回はそれぞれ興味のあるテーマを決め、中面の記事をそれぞれ担当し、私と一緒に作成しました。

学生の視点でみた鎌倉市の課題はどこにあるのか、ぜひご一読ください。課題の調査に質問をさせていただきました市民の皆さん、職員の皆さんありがとうございました。

8月、9月と活動を共にしますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

